

作曲コース

作曲コース

デジタルミュージックコース

指揮コース

サウンドテクノロジーコース

ピアノ演奏家コース

ピアノ指導者コース

ピアノ音楽コース

オルガンコース

電子オルガンコース

弦響打楽器コース

ジャズコース

ポピュラー音楽コース

声楽コース

アートマネジメントコース

舞台スタッフコース

音楽療法コース

ミュージカルコース

バレエコース

試験科目	内容	注記	A O	給 費 生	公 募 推 薦	一 般 前 期	一 般 後 期
1 主科実技課題	A. 以下の(1)および(2)の両方を受験する (1)和声 (a)バス課題 (b)ソプラノ課題 (各60分) (2)作品提出 自作品の楽譜をコピーして出願時に提出。 形式、編成および曲数は自由(編曲作品は除く)。			○	○	○	○
	B. 以下の(1)または(2)のいずれかを選択する (1)和声 バス課題 (60分) (2)作品提出 自作品の楽譜をコピーして出願時に提出。 形式、編成および曲数は自由(編曲作品は除く)。		○				
2 ソルフェージュ課題	A. 以下の(1)および(2)の両方を受験する (1)聴音 旋律聴音2題、および和声聴音1題(上三声密集四声体) (2)以下の(a)または(b)のいずれかを選択する (a) F.Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻) No.33~59(原書番号)の中から1曲を当日指定。 (b)新曲視唱	※聴音および新曲視唱の実施方法と例題は●ページを参照。唱法は固定ド、移動ドいずれでもよい。		○	○	○	
	B. 以下の(a)~(c)のいずれか1つを選択する (a)旋律聴音2題、および和声聴音1題(上三声密集四声体) (b) F.Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユーブンゲン第1巻) No.33~59(原書番号)の中から1曲を当日指定。 (c)新曲視唱		○				○
3 副科ピアノ	自由曲1曲	※繰り返しなし。暗譜でなくてもよい。	○	○	○	○	○
4 主科面接		※主科実技に対する試問を含む。	○	○	○	○	○
5 AO面接		※AO面接は主科面接の中で行う。	○				
6 給費生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、その伝記を読んで、試験当日に課題作文を書く。伝記は単行本に限り、辞書・辞典類の項目は認めない。当日参照不可。/60分 詳細は●ページに記載。			○			
7 給費生面接				○			
8 一般科目	A. 本学で行う以下の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験(45分) (a)英語(I・II) (b)国語(国語総合、国語表現I、ただし古文・漢文を除く) (c)数学I					○	
	B. 大学入試センター試験の成績を利用する 以下の(a)~(f)の中から2教科2科目を選択 (a)国語 (b)地理歴史 (c)公民 (d)数学 (e)理科 (f)外国語	※「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」について3教科・3科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目毎100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については38ページを参照。					○